

本会の設立とその沿革

本会が創立されたのは、わが国が独立を失い、あらゆる制度、機構が変革にあい、国民各層が混迷自失の状態にあった時である。

官製労働者組織「産業報国会」の解散に伴い、新しい民主的機構の下に工業倶楽部設立の準備を開始し、まず県下各地に工業倶楽部を設立し、その連合体として埼玉県工業倶楽部を創立したのである。

この間8カ月有余を要したが28地区団体即ち県下工場の大部分を糾合し得たことは当時の県内経営者の復興の意気を示すものであった。

その目的は経営者相互の連絡提携により企業経営の合理化を図り、産業平和を確立し、県産業の振興を期するところにあった。

発足当初は、工場間に物資の配給幹旋をなし、あるいは新たに制定された労働法、労働基準法等の普及につとめ、あるいは科学的経営労務管理方式及び新しい教育訓練方式の宣伝に努力した。又労働争議に直面しては本会推薦使用者側の労働委員はその解決に努力し労働関係の改善につとめ、あるいは官界政界に人材を送り、戦後における県産業界に人材を輩出する基盤となった。その間、故小林英三氏、故山口義雄氏、故平沼弥太郎氏、故長島恭介氏、故神尾昌一氏、故原 宏氏、利根忠博氏、西村和義氏、現会長上條正仁氏の9代に亘り、基礎確立に、組織拡大に尽力し、幹部役員もまた相協力をして会の伝統の擁護と発展につとめた。

本会が民間団体として自主独立今日の発展をなしたのは、民主主義の原則により会則を守り健全経営主義を堅持し続けた努力の賜であるが、半世紀以上の間会員意識の高さと道義性の正しさにより幾多の試練を乗り越えてきた。

現在、日本は経済・産業の両面に亘り未曾有の変革期に直面しているが、彩の国埼玉も埒外でなくこの険路にある。この中において、県内経済・産業界を牽引する本会の役割はいよいよ重要性を加えると共に、会員数も642社を数えている。

本会变遷の概要をみれば次の通りである。

昭和21年6月15日	創立総会を開催し、会長小林英三、副会長山口義雄、福永健司、専務理事に金子道啓の諸氏が選任された。事務局を浦和市埼玉会館内に置く。
昭和22年1月24日	埼玉県商工倶楽部と合流し、事務局を大宮市大門町に移転した。
昭和23年2月26日	社団法人埼玉県工業協会の設立許可を得た。当時団体会員数19、個人会員数は66であった。
昭和23年4月12日	日本経営者団体連盟の発足に伴い、これに正式に加入した。
昭和23年9月	埼玉県衛生管理者協会を創立し、事務所を本会事務局内に置く。
昭和24年3月9日	社団法人埼玉工業経営者協会と改称し、会長・副会長・専務理事に次の諸氏が選任された。 会長 山口義雄、副会長 稲川次郎、佐俣泰雄、小池庫吉、専務理事 金子道啓
昭和24年9月	財団法人労働物資協会埼玉支所を事務局内に設立した。
昭和25年3月9日	埼玉労働安全協会を設立し、事務所を事務局内に置く。
昭和25年4月17日	社団法人埼玉県経営者協会と改称し、工場以外の事業所も会員として加入することを認めた。
昭和27年1月8日	事務局を浦和市北浦和4丁目18番地に移転し、産業会館を設立した。
昭和28年4月7日	役員改選、会長・副会長に次の諸氏が選任された。 会長 平沼弥太郎、副会長 稲川次郎、岡田千里、竹入貞人
昭和29年10月23・24日	関東ブロック経営者連絡会議を秩父市において開催した。
昭和30年5月13日	役員改選、会長・副会長に次の諸氏が選任された。 会長 平沼弥太郎、副会長 堀口 信、安楽岡清造
昭和31年10月27日	創立10周年記念経営者大会を大宮市において開催した。
昭和32年4月24日	役員改選、会長・副会長に次の3氏が選任された。 会長 平沼弥太郎、副会長 堀口 信、川鍋秋蔵
昭和33年6月22日	産業会館焼失。
昭和33年7月1日	浦和市高砂1丁目160番地の1に仮事務所を設置した。
昭和34年4月27日	役員改選、会長・副会長に次の3氏を再選した。 会長 平沼弥太郎、副会長 堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 35 年 4 月 21 日 埼玉県生産性協議会を創立し、事務所を本会事務局内に置く。

昭和 35 年 4 月 25 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏を再選した。
会長 平沼弥太郎、副会長 堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 36 年 7 月 17 日 事務局を大宮市桜木町 1 丁目 4 6 5 番地（埼玉県商工会館内）に移転した。

昭和 36 年 10 月 3 日 創立 15 周年記念経営者大会を大宮市において開催した。

昭和 36 年 12 月 20 日 会長 平沼弥太郎氏の辞任に伴い、後任会長に長島恭助氏が選任された。

昭和 37 年 1 月 18 日 新たに副会長に平田高美氏が選任された。

昭和 38 年 4 月 20 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 39 年 4 月 20 日 事務局長 森正木、本会専務理事に選任された。

昭和 39 年 5 月 18 日 埼玉県産業訓練研究所を創立し、研究所を本会事務局内に置く。
役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 40 年 7 月 2 日 埼玉音楽文化協会を創立し、事務局を本会事務局内に置く。
会長 長島恭助、副会長 田中松彦、河西達夫、専務理事 森 正木、事務局長 組田安貞の諸氏が選任された。

昭和 41 年 11 月 11 日 創立 20 周年記念大会を大宮市において開催した。

昭和 42 年 5 月 15 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 42 年 6 月 26 日 埼玉県生産性協議会の事務局を浦和市高砂 4 丁目 4 番地 1 号に移転した。

昭和 44 年 4 月 25 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、堀口 信、川鍋秋蔵

昭和 46 年 4 月 26 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、川鍋秋蔵、浅原金平

昭和 46 年 11 月 19 日 創立 25 周年記念大会を大宮市において開催するとともに、会章、会旗を制定した。

昭和 48 年 5 月 9 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 平田高美、赤岩重雄、西海敏夫

昭和 50 年 4 月 25 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 赤岩重雄、西海敏夫

昭和 51 年 10 月 27 日 創立 30 周年記念大会を大宮市において開催した。

昭和 52 年 4 月 27 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 赤岩重雄、西海敏夫

昭和 54 年 5 月 14 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 西海敏夫、鈴木末男

昭和 54 年 12 月 19 日 新たに副会長に猪俣良治氏が選任された。

昭和 56 年 5 月 11 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 鈴木末男、猪俣良治

昭和 57 年 12 月 17 日 副会長 鈴木末男が辞任し、高見澤宏氏が選任された。

昭和 58 年 5 月 10 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 高見澤宏、久寿米木吉平

昭和 59 年 11 月 28 日 副会長 高見澤宏が辞任し、相澤 淳氏が選任された。

昭和 60 年 5 月 10 日 役員改選、会長・副会長に次の 3 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 相澤 淳、久寿米木吉平

昭和 60 年 8 月 6 日 副会長 久寿米木吉平が辞任し、藤波道忠氏が選任された。

昭和 60 年 8 月 27 日 埼玉県商工会館の解体により、事務局を大宮市桜木町 1 丁目 376 番地の 2（埼玉県商工団体事務所内）に移転した。

昭和 62 年 5 月 22 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏が選任された。

昭和 63 年 3 月 28 日 会長 長島恭助、副会長 相澤 淳、藤波道忠、伊地知重威
埼玉県産業文化センター（ソニックシティ）の竣工にともない、事務局を大宮市桜木町 1 丁目 441
番地（ソニックシティ 9 階）に移転した。

平成 元年 5 月 18 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏を再選した。
会長 長島恭助、副会長 相澤 淳、藤波道忠、伊地知重威

平成 元年 9 月 12 日 副会長 藤波道忠が辞任し、岩切龍雄氏が選任された。

平成 2 年 5 月 2 日 地番変更により事務局所在地が大宮市桜木町 1 丁目 7 番地 5 に変更された。

平成 3 年 5 月 21 日 役員改選、会長・副会長に次の 4 氏が選任された。
会長 長島恭助、副会長 相澤 淳、伊地知重威、岩切龍雄

平成 3 年 11 月 21 日 副会長 伊地知重威が辞任し、神尾昌一氏が選任された。

平成 4 年 9 月 22 日 会長 長島恭助氏が逝去された。

平成 4 年 11 月 24 日 会長 神尾昌一氏、副会長 栗原 隆氏が選任され、副会長 相澤 淳氏が辞任した。

平成 5 年 2 月 23 日 副会長に原 宏氏、石田治夫氏が選任された。

平成 5 年 11 月 10 日 副会長に飯塚直次氏が選任された。

平成 6 年 5 月 26 日 専務理事 森 正木氏が辞任した。

平成 7 年 1 月 19 日 専務理事に野上武利氏が選任された。

平成 9 年 4 月 22 日 副会長 飯塚直次氏が辞任した。

平成 10 年 5 月 19 日 会長 神尾昌一氏、副会長 岩切龍雄氏が辞任し、会長に原 宏氏、副会長に田中 正氏、古畑
明敏氏、渡邊彦逸氏が選任された。

平成 11 年 5 月 25 日 副会長 石田治夫氏、古畑明敏氏が辞任し、副会長に山田 選氏、堀江優夫氏が選任された。

平成 11 年 12 月 17 日 副会長 堀江優夫氏が辞任し、副会長に三宅修二氏が選任された。

平成 12 年 10 月 21 日 副会長 渡邊彦逸氏が逝去された。

平成 13 年 4 月 24 日 副会長に本多康夫氏が選任された。

平成 14 年 5 月 28 日 上部団体の日本経営者団体連盟（日経連）と経済団体連合会（経団連）が統合し、日本経済団体
連合会（日本経団連）が設立された。

平成 14 年 10 月 29 日 副会長 三宅修二氏が辞任し、副会長に仲澤洋文氏が選任された。

平成 16 年 3 月 22 日 副会長 田中 正氏が辞任し、副会長に利根忠博氏が選任された。

平成 16 年 11 月 22 日 副会長 仲澤洋文氏が辞任し、副会長に増田 博氏が選任された。

平成 17 年 4 月 22 日 副会長 山田 選氏が辞任し、副会長に三輪克明氏が選任された。

平成 18 年 5 月 23 日 創立 60 周年記念式典をさいたま市において開催した。

平成 19 年 5 月 10 日 会長 原 宏氏が辞任し、顧問・名誉会長に選任。会長に利根忠博氏、副会長に森谷文昭氏が選
任された。

平成 19 年 9 月 15 日 副会長 三輪克明氏が逝去された。

平成 19 年 10 月 26 日 副会長に加藤喜久雄氏が選任された。

平成 21 年 4 月 24 日 副会長 増田 博が辞任し、副会長に坂上優介氏が選任された。

平成 21 年 5 月 12 日 副会長 栗原 隆氏が辞任し、理事・顧問に選任された。
副会長に藤池誠治氏、菊池 勇氏が選任された。
専務理事 野上武利氏が辞任し、専務理事に三国雅裕氏が選任された。

平成 23 年 5 月 12 日 会長 利根忠博氏が辞任し、顧問・特別顧問に選任された。
副会長 森谷文昭氏が会長代行に選任された。
副会長 本多康夫氏が辞任された。
専務理事 三国雅裕氏が辞任し、専務理事に根岸茂文氏が選任された。

平成 23 年 12 月 7 日 副会長に吉野寛治氏、椎名幹芳氏が選任された。

平成 24 年 3 月 26 日 副会長 坂上優介氏が辞任し、発田 聡氏が選任された。

平成 24 年 5 月 10 日 会長代行 森谷文昭氏が辞任し、顧問に選任された。
副会長に高橋重夫氏が選任された。
会長、副会長に次の 15 氏が選任された。

会長 西村和義氏、副会長 上條正仁氏、藤池誠治氏、橋元 健氏、斉之平伸一氏、牧 毅氏、光山由一氏、原 敏成氏、押澤秀和氏、宮澤政信氏、小川修一氏、神田 正氏、田邊昭治氏、牛窪啓詞氏、横塚正秋氏、増田文治氏。

平成 24 年 10 月 12 日 副会長 押澤秀和氏と副会長 田邊昭治氏が辞任し、副会長に織田秀明氏と栗田敏寿氏が選任された。

平成 25 年 4 月 1 日 一般社団法人埼玉県経営者協会に移行。

平成 25 年 5 月 9 日 名誉会長に原 宏氏、利根忠博氏、顧問に栗原 隆氏、森谷文昭氏が委嘱された。

会長・副会長・専務理事に次の諸氏が選任された。

会長 西村和義氏、副会長 加藤喜久雄氏、藤池誠治氏、吉野寛治氏、椎名幹芳氏、発田 聡氏、上條正仁氏、山本 彰氏、橋元 健氏、斉之平伸一氏、牧 毅氏、光山由一氏、原 敏成氏、織田秀明氏、宮澤政信氏、斉藤 実氏、神田 正氏、栗田敏寿氏、牛窪啓詞氏、横塚正秋氏、増田文治氏、川本武彦氏、専務理事 根岸茂文氏。

菊地 勇氏、小川修一氏は副会長を辞任された。

監事に中込秀明氏、松本伸一郎氏が選任された。

平成 26 年 5 月 14 日 副会長 上條正仁氏、織田秀明氏、牧 毅氏が辞任された。

副会長に池田一義氏、満岡隆一氏、山内真輝氏が選任された。

平成 26 年 10 月 9 日 副会長 椎名幹芳氏、栗田敏寿氏が辞任された。

副会長に赤地文夫氏、浅見郁樹氏が選任された。

平成 27 年 5 月 13 日 会長 西村和義氏が辞任し、会長に上條正仁氏が選任された。

名誉会長に西村和義氏が委嘱された。

副会長に徳淵良孝氏、高橋行憲氏、栗田美和子氏、伊藤麻美氏が選任された。

平成 27 年 10 月 21 日 副会長 浅見郁樹氏が辞任し、副会長に阪本未来子氏が選任された。

平成 28 年 5 月 12 日 副会長 斉藤 実氏が辞任された。

副会長に石井 進氏、小高富士夫氏が選任された。常務理事に廣澤健一氏が選任された。

平成 28 年 10 月 12 日 副会長 笠井澄人氏、発田 聡氏が辞任された。

副会長に榊原 明氏、荒木道介氏が選任された。

平成 29 年 5 月 10 日 副会長 山内真輝氏が辞任された。

副会長に戸所邦弘氏、田中徳兵衛氏、阿久根謙司氏が選任された。

平成 29 年 10 月 26 日 副会長 阪本未来子氏が辞任し、副会長に中村知久氏が選任された。

平成 30 年 10 月 29 日 副会長 満岡隆一氏が辞任し、副会長に松村宗夫氏が選任された。

令和 元年 5 月 10 日 会長 上條正仁氏が辞任し、会長に石井 進氏が選任された。

名誉会長に上條正仁氏が委嘱された。

副会長 阿久根謙司氏が辞任し、清水 淳氏が選任された。

副会長に橋本義昭氏が選任された。

専務理事 根岸茂文氏が辞任し、専務理事に廣澤健一氏が選任された。